

事業コード	H17-建-継-4		区 分	国庫補助 県単独
事業名	国道特殊改良一種事業費		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	一次改良(バイパス)		班 名	高速道路・国道班 (tel) 018-860-2489
路線名等	国道105号		担当課長名	中山 敏夫
箇所名	由利本荘市横岩BP		担当者名	主幹兼班長 佐藤 彰一
総合計画との関連	政策コード	U	政策名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備
	施策コード	03	施策名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備
	指標コード	02	施策目標(指標)名	県管理国道改良率

1. 事業の概要

事業期間	H15 ~ H18 (4年)		総事業費	5.5億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	延長 L=960m、幅員 W=6.5(9.5)m						
事業の立案に至る背景	地域高規格道路「本荘大曲道路」を補完し、高速交通ネットワークの強化を図る。 当該区間は線形不良、急坂路(最急勾配 <i>i</i> =8.0%、最小半径 <i>R</i> =50m)であり、冬期には車輛の滑走事故等も発生し、円滑な交通確保に支障をきたしている。						
事業目的	道路防災対策・危機管理の充実(第2次緊急輸送路) 交通の隘路区間(線形不良、急坂路)の解消 高速交通ネットワークの強化						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	事業費	680,000	550,000	-130,000			
	経費内訳	工事費	549,000	431,000	-118,000	擁壁工見直しによるコスト縮減	
		用補費	44,000	42,000	-2,000		
		その他	87,000	77,000	-10,000		
	財源内訳	国庫補助	340,000	275,000	-65,000		
		県債	136,000	110,000	-26,000		
その他		0	0	0			
一般財源	204,000	165,000	-39,000				
事業内容	調査・設計 改良工 橋梁工 舗装工	調査・設計 改良工 橋梁工 舗装工					
事業の進捗状況	H18年度完成供用に向けて工事促進中である。						
事業推進上の課題	特になし。						
関連する計画等	あきた21総合計画における施策「地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備」を支援する事業。						
情勢の変化及び長期継続の理由	H17.3.22 旧大内町が周辺市町村と合併して由利本荘市となった。						
事業効率把握の手法及び効果	指標名	旅行速度の向上					
	指標式	旅行速度km/h					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	50 km/h		データ等の出典	一般交通量調査票(H11)		
	実績値 b	46 km/h					
達成率 b/a	92.0 %		把握の時期	平成17年7月			

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	特になし
	指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	当該区間は急勾配・急カーブが連続しており、危険箇所である。 現道の事故率は122件/億台kmと高い。特に冬期には車輛の滑走事故等も多く発生していることから、早急な整備が望まれている。	10点
緊 急 性	本路線は県の主要プロジェクトである「地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備」に位置づけあり。 地域振興プロジェクト「高速ICへのアクセス機能の強化」に位置づけあり。 高速交通ネットワークの形成とともにH19秋田わか杉国体支援のため早期供用が必要である。	10点
有 効 性	第2次緊急輸送路の指定路線でもあり、災害や救急医療施設へのアクセス道路としての活用も見込まれ、防災計画上の重要路線である。	28点
効 率 性	計画交通量は6,400台/日である。 擁壁工や逆T擁壁を補強土壁に見直す等によりC=84百万円からC=18百万円に大幅なコスト縮減を図っており、効率性も高い。 事業の費用便益比は4.42で効率性が高い。	20点
熟 度	H15.9.22 旧大内町長、旧大内町議会議長から早期完成を要望されている。 地元関係者はもとより利用者からも早期完成要望が出されている。 すでに用地買収は完了しており、工事進捗率は73%と熟度も高い。	18点
判 定	ランク () 地域高規格道路「本荘大曲道路」を補完するとともに、第2次緊急輸送道路にも位置付けられるなど、「緊急性」「効率性」が高い点数であることから引き続き実施すべき事業である。	86点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の総合評価を可とする。

評価種別 継続箇所評価

事業コード(H17-建-継-4)

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)

箇所名 (由利本荘市横岩BP)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	<ul style="list-style-type: none"> ・車道幅員 < 5.5 m ・最小半径 < 100 m ・最急勾配 > 5 % ・冬期堆雪巾なし 	3箇所以上	8	8	2次改築事業については該当しない。
		2箇所	6		
		1箇所	4		
		0箇所	0		
		道路環境上の欠陥該当項目	5件該当		
	<ul style="list-style-type: none"> ・現道の混雑度 1.0 ・現道の旅行速度 30km/h ・現道の事故率 50件 ・通学路指定で歩道なし ・重大交通事故が発生 	4件該当	6	2	2次改築は配点15点 2次改築は配点12点 2次改築は配点10点 2次改築は配点8点 2次改築は配点4点
		3件該当	5		
		2件該当	4		
		1件該当	2		
該当項目なし		0			
計		15	10		
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無				
	<ul style="list-style-type: none"> ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業 	あり	5	5	
		なし	0		
		市町村合併支援道路	位置づけあり		
		位置づけなし	0	0	
特有の課題の有無	あり	5	5		
	なし	0			
計			15	10	
有効性	道路の位置づけ				
	緊急輸送路	第1次輸送路	10	8	
		第2次輸送路	8		
		第3次輸送路	6		
		指定なし	0		
	県内90分交通体系、全国1日交通圏等	あり	10	10	
		なし	0		
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10	10		
	低下傾向	6			
	必要性が低い	3			
計			30	28	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比(B/C)	1.5以上	5	5	
		1.0以上~1.5未満	3		
		1.0未満	0		
	計画交通量	5,000台/日以上	5	5	
		1,000台/日以上~5,000台日/未満	3		
		1,000台/日未満	0		
	コスト縮減	あり	5	5	
なし		0			
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	e t c 大規模バイパス e t c 部分的ミニバイパ e t c 現道拡幅	
	既投資額の部分的損失	4			
	既投資額の損失が少ない	3			
計			20	20	
熟度	事業の進捗進捗状況				
	事業の進捗(事業費)	8割以上完了	10	8	
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
		用地買収の進捗(面積)	8割以上完了		
	5割以上完了	8			
	1割以上完了	5			
	1割未満	2			
	未着手	0			
計			20	18	
合計			100	86	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		